

教 介護等体験

Personal Experience in Nursing etc.

UMIGUCHI Hiroyoshi

海 口 浩 芳

科目ナンバリング：UTL-2-401-01

■授業の目的及び到達目標

この授業の目的は、介護等体験の事前・事後指導を行い有意義な体験をめざすことにある。介護等体験特例法で規定されているように、これからの教員に求められる福祉的対応についての基礎的知識について理解し、対人関係職としての教員に必要な「コミュニケーション能力」や「他者への思いやり」といった資質能力を高めることを到達目標とする。

■授業計画

- 1 オリエンテーション
介護等体験の意義、体験への参加方法・準備、体験にあたっての留意点を説明する。
- 2 事前指導：特別支援教育について
特別支援教育の概要、インクルーシブ教育について解説する。
- 3 事前指導：外部の特別講師による講義①
特別支援学校教諭による講義（特別支援学校における教育、体験にあたっての注意など）
- 4 事前指導
講義内容の自己へのフィードバック、特別支援学校での体験にあたっての心構えと留意点。
課題学習（リーディングリポート）をグループ内で報告しあい、自身の事前学習へのフィードバックとする。
- 5 事前指導
特別支援学校での体験にあたっての注意事項、個人票の添削。
- 6 事前指導：外部の特別講師による講義②
高齢者福祉施設職員による講義（福祉施設における介護・介助の理解、体験にあたっての注意）。
- 7 事前指導
講義内容の自己へのフィードバック、社会福祉施設での体験にあたっての注意事項、個人票の添削。
課題学習（リーディングリポート）をグループ内で報告しあい、自身の事前学習へのフィードバックとする。
- 8 特別支援学校における体験①
授業の見学、学習補助、児童・生徒との交流
- 9 特別支援学校における体験②
学校行事への参加、活動補助、児童・生徒との交流、体験の総括
- 10 社会福祉施設における体験①
障害者・高齢者との交流、機能訓練等の補助
- 11 社会福祉施設における体験②
障害者・高齢者との交流、配膳等日常業務の補助
- 12 社会福祉施設における体験③
障害者・高齢者との交流、食事の補助等
- 13 社会福祉施設における体験④
障害者・高齢者との交流、レクリエーション等の補助
- 14 社会福祉施設における体験⑤
障害者・高齢者との交流、体験の総括
- 15 事後指導：体験報告会
グループごとに体験の学びを報告し、各自が体験で学んだことをフィードバックするとともに、他者の報告を聞いて今後の学びに生かす。

■授業の方法

この授業は、指定テキストに基づく講義とともに、特別支援学校・社会福祉施設の現場で活躍されている方々による講義によって構成される。また、後期に介護等体験での学びの総括として報告会を行う。

中学校教員免許状取得のための必修科目であること、限られた授業回数であることから、原則すべての授業に出席する必要がある。

■予習・復習

〈予習〉事前に教科書の該当部分を読み、次回の授業の準備をする。またガイダンス時に配布した資料に掲載してある参考文献を熟読すること。

〈復習〉教科書の該当部分を再読するとともに、外部講師から提供された資料を再読し、自己の体験に備える。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

外部講師による講義を受けたあとに作成する受講レポート（20%）および体験報告会後に提出するワークシート（30%）、体験施設・学校が発行する「証明書」ならびに実習体験参加者が作成する「介護等体験記録簿」の内容等（50%）を総合的に判断し、2単位（事前・事後指導の1単位を含む）を認定する。

なお、これらの評価の前提として、授業内で行う「リーディング・リポート」のワークシート提出（2回）を義務づける。提出物が一つでも欠けた場合、単位は認定されない。事後報告会を含めたすべての授業への出席が評価の前提となる。

■教科書・参考書

（教科書等）

全国特別支援学校長会編著『フィリア（介護等体験ハンドブック）』ジヤース教育新社
『介護等体験マニュアルノート』東京都社会福祉協議会

（参考書）

ガイダンスにおいて配付する『介護等体験受講者へのお知らせ及び参考資料』

■関連する科目

特別支援教育論を履修済みもしくは履修中であることが望ましい。